

ONS 15327、ONS 15454、および ONS 15600 のパスワード回復手順

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[パスワードの回復手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco ONS 15327、ONS 15454、および ONS 15600 のパスワード回復手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15327
- Cisco ONS 15454
- Cisco ONS 15600

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ONS 15327 バージョン 3.3.0 以降 (XTC)
- Cisco ONS 15454 バージョン 2 - 2.3.3 以降 (TCC)
- Cisco ONS 15454 バージョン 3 - 3.3.0 以降 (TCC+)
- Cisco ONS 15454 バージョン 4 - すべて (TCC2)
- Cisco ONS 15454E バージョン 3.3.0 以降
- Cisco ONS 15600 バージョン 1.0 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

パスワードの回復手順

パスワードを回復するための前提条件は次のとおりです。

- 回復手順は、オンサイトで実施する必要があります。
- Network Element (NE; ネットワーク要素) に IP 接続できる必要があります。
- パスワード回復ケーブルが必要です。パスワード回復ケーブルがない場合は、Cisco TAC に連絡してサービスリクエストをオープンしてください。TAC エンジニアがケーブルを発注いたします。部品番号は次のとおりです。ONS 15327 および 15454 用の部品番号：15454-15454-EPC=ONS 15600 用の部品番号：15600-TPC=

パスワードを回復するには、次の手順を実行します。

1. スタンバイ TCC/TCC+/TCC2 カードを取り外します。注: これ以降の説明では、TCC/TCC+/TCC2 カードを TCC カードと呼びます。
2. パスワード回復ケーブルの一端を、取り外した TCC カードに取り付けます ([図 1](#) を参照)。これらのピンは、TCC カードの右側の前面/下部の近くにあります。ピンには RS232-DBG のラベルが付いています。TCC カードには RS232-DBG ピンが 2 組あります。カードの前面に近い方のピンを使用してください ([図 1](#) のマウスポインタを参照)。注: TCC カードの再装着時にパスワード回復ケーブルが邪魔にならないように、TCC 側接続の上部のピン スロットは使用しないことを推奨します。 [図 1 – TCC/TCC+/TCC2 への接続](#)
3. ケーブルの DB9 の部分を、シリアル ポートを通じて PC のシリアル ポートに接続します。
4. Hyper Terminal を実行します。
5. シリアル ポートで次の設定を指定します ([図 2](#) を参照)。ビット/秒：9600 データ ビット：8 パリティ：なし ストップ ビット：1 フロー制御：なし [図 2 – シリアル ポートの仕様](#)
6. TCC を再装着します。
7. TCC をブートします。
8. TCC がブートし、Power On Self Test (POST; 電源投入時自己診断テスト) 情報が画面上でスクロール表示されているときに、任意のキーを押してブート プロセスを中断します。
9. 「c」と入力しブート パラメータを変更します ([図 3](#) の赤い矢印を参照)。
10. Enter キーを押します。 [図 3 – システム ブート](#)：「c」と入力 メニューが表示されます。
11. startup script が表示されるまで、Enter キーを押してメニューをスクロールします。
12. 「pwd_recov」と入力します ([図 4](#) の赤い矢印を参照)。 [図 4 – システム ブート](#)：「pwd_recov」と入力
13. メニューの最後まで選択項目をスクロールします。
14. ブート プロンプトで「@」と入力します。
15. Enter キーを押して、ブート サイクルを続けます ([図 5](#) を参照)。 [図 5 – システム ブート](#)：「@」と入力
16. スタンバイ モードになるまで、TCC にブート サイクルを継続させます。
17. アクティブ TCC をリセットします。
18. Cisco Transport Controller (CTC; シスコトランスポートコントローラ) を使用して ONS 15600、ONS 15454 または ONS 15327 ノードにログインし、デフォルト設定へのリセットが成功したかどうかを確認します。デフォルト設定には、CISCO15 というユーザ名とブランクのパスワードが含まれています。

19. ノードに PING できることを確認してから、Telnet で ONS 15454 または ONS 15327 ノードにログインします。telnet <ip address> コマンドを使用して、NE にアクセスします。CTC と同じユーザ名とパスワードを使用します。パスワードのリセット後は、CISCO15 がユーザ名で、パスワードは設定されていません。
20. システムプロンプト (->) で、「bootChange」と入力します ([図 6](#) の矢印 A を参照)。startup script が表示されるまで Enter キーを押し続けます。TCC で変更したものです。そのため、アクティブ TCC からこのパラメータを削除する必要があります。 [図 6 – bootChange と . を入力して pwd_recov を削除する](#)
21. . と入力し、Enter キーを押して、startup script フィールドをクリアします ([図 6 の矢印 B を参照](#))。この操作で pwd_recov が削除されます。
22. 再度、「bootChange」と入力し、startup script フィールドを確認します。pwd_recov が削除されたことを確認します。
23. Telnet セッションからログアウトします。
24. ONS 15454 バージョン 3.4.2 を使用している場合は、スタンバイ TCC カードにデータベース書き込みを行うために、さらに変更作業が必要になります。これには、CTC でサイト情報またはサイト連絡先を編集します。この操作を実行しないと、アクティブ TCC をリセットしたときに、データベースが古いパスワードに戻ってしまいます。
25. CTC でアクティブ TCC をリセットします。
26. シャーシから TCC を取り外します。
27. パスワード回復ケーブルを取り外します。
28. TCC を再装着します。注: この手順に関して質問がある場合は、TAC に連絡してください。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)